



ときわ動物園で見る識る

今日の動物園には、いくつかの社会的な機能、役割が求められています。その中の一つに「環境教育」というテーマがあります。動物園では動物たちの姿や行動、生態などを直接見たり知ったりすることができ、それらを通して彼らを取り巻く生息環境のことや保全の大切さを学ぶことができます。

2015年にリニューアルオープンしたときわ動物園は、動物たちの生息環境を再現した「生息環境展示」を最大の特徴としています。アジアゾーンのシロテテナガザルは、長い腕を使って高さ10m以上の樹木や枝の間を飛ぶように渡っていきます（「腕渡り」と言います）。このダイナミックな行動を目の当たりにすれば、テナガザルと彼らが生息する熱帯雨林の結び付き、大切さがよく分かります。中南米ゾーンのカピバラとクモザルの混合展示では、水系から陸上、樹上までの多様な環境を動物たちが棲(す)み分けしてい



「ゆでカエル」知っていますか

うべ環境コミュニティ—理事 津島 榮

SDGsは、国連レベルの持続可能な開発目標として、17の目標と169のターゲットが公表されました。この目標を2030年までに達成しようというものです。総理大臣を始め多くの方がSDGsのバッジをつけています。国連レベルのこの大きな開発目標に対し、我々市民は何をすればよいのでしょうか。

「ゆでカエル」という言葉を聴きます。沸かしている五右衛門風呂にカエルが飛び込み、手足を広げて気持ちよく浮かんでいます。一方でお風呂は、沸かされており、温度は徐々に上昇しているのです。

しかしカエルは気持ちよく浮かんでいます。どんどん温度は上昇し、気がついたときには茹で上がっていたという話です。今の人間がゆでカエルではないかという警告のお話です。

SDGsに対し私達は何をすれば良いのでしょうか。まず「自分ごと化」する必要があります。①国連レベルの目標を達成するための自らの目標を策定する必要があります。②次に自らの目標を達成するための行動規範を策定し、行動を変革し、SDGs達成に貢献しようとするものです。このプログラムは宇部工業高等学校と協働で3年にわたり実施しているものです。

学生が作成し、携行しているカードを掲示します。

◎ 第2回環境サロン

- ・日時：2021年11月12日（金）18:00~20:00
- ・場所：宇部市新川ふれあいセンター／オンライン併用
- ・テーマ：終活・空き家片付けごみを考える
- ・申込：ubekuru@gmail.com 〆切：11月10日
- ・資料代 200円（オンラインは免除）



宇部市ときわ動物園 園長 多々良成紀

ることが分かるでしょう。「生物多様性」という考え方を理解するのに持ってこいの展示です。

私たちの周辺から自然や生き物が少なくなった昨今、動物園はそうしたものに思いを寄せることのできる特別な場所です。私たち動物園スタッフは、ガイドやレクチャーなどを通じて皆さまと動物たちの間を取り持ち、これからも動物や環境のことを楽しく学べる施設として取り組んでまいります。皆さまのご来園を心からお待ちしています。



腕渡りをするシロテテナガザル



カピバラとクモザルの混合展示



自分ごと化のステップ	アウトプット(例)
SDGsの目標を理解する	SDGs-9 気候変動に具体的対策を
自らの目標に変換する	使用電力量を20%削減する
自らの目標を達成するための行動規範を策定する	①エアコン温度設定 夏28度/冬23度
行動規範をカードとして携行し、自らの行動変革を促す	宇部工業高校の生徒が議論を重ね作成したカードの見本、下記に掲示



イベント案内

◎ 特別サロン(1)

- ・日時：2021年12月8日（水）18:00~20:00
 - ・場所：宇部市新川ふれあいセンター
 - ・テーマ：住まい片付けとエコショップ府中の好事例
 - ・講演：よって屋代表理事 重田 益美
- <https://yotteya.jimdofree.com/>

宇部天文同好会

会長 久幸 美雄



夜空の星に魅せられて星好き人たちは、宇部市勤労青少年会館の“うべプラネタリウム”や“20号屈折望遠鏡”の下に集まって、宇部天文同好会を開いています。

当会は1968年発足以来今でも、古い仲間も新しい友達もみんなわけへだてなく一緒に星空を眺めています。宇部市教育委員会の委託管理者として、毎週日曜14時からうべプラネタリウム一般投影の操作解説を軸に、星空観望会やポータブル望遠鏡で移動天文教室、流星群や日食月食など天文現象に応じた公開観測会、国立天文台やJAXAから講師や宇宙飛行士を招いて天文講演会など、年間200回近い天文イベントを企画開催して天文普及に努めています。

現在会員は50名近く、年齢層は小学3年生から85歳まで、地域は広く周辺都市に及び遠くは広島福岡、東京札幌まで、実に幅広い皆さんが参加しています。

当会をめぐる目下の問題点は、活動拠点の勤労青少年会館が老朽化のため、近い将来取り壊しが決まっていることです。耐震構造の問題などから、その方針はやむを得ないところですが、中に収まっている天文施設はばりばりの現役ですし、半世紀以上の長きにわたってたゆまず続けてきた天文普及活動までここで途切れるわけにはゆきません。

なんとしてでも継続してゆかねばなりません。

そこで、勤労青少年会館に代えて、例えば「子ども科学館」といった新しい建物ができないものかと考えています。

そこは、プラネタリウムも天体望遠鏡もあり、学びと遊びの場として、広く市民の誰もが自由に利用でき、楽しく最先端の科学に触れ、広い視点を持つ人材が育つ環境の場でありたいと思います。まさかの時には避難場所にも対策指令本部のサテライトにもなるでしょう。そうした夢の科学館建設を推進するさきがけの活動をしてゆきたいと考えています。

どうぞ、星が大好きな優しい人たちと、宇宙の楽しさを語り合いながら、次代の宇部市の夢を追う愉快な仲間に加わりませんか。

宇部天HP <https://ubeten50.wixsite.com/mysite>



勤労青少年会館 うべプラネタリウム

うべ環境コミュニティー会員 ほっと コラム

空き家対策と住まいの片付けを巡って

村上ひとみ（山口大学非常勤講師）

第2回環境サロンでは、住まいの終活、空家の片付け問題を取り上げます。宇部市では空家対策計画第2期が始まり、9月議会で空き家問題が質議されています。市内に戸建ての空家が2588戸余りあり、高齢者世帯も多いことから、今後の増加が予想されます。5年に一度の住宅土地統計調査（2018年）によれば、戸建て住宅の空家（賃貸用、販売用を除き）は宇部市で4800戸となっています。

一方で、京都ではまちづくり活動の中で、専門家の支援も得て、「空き家の手帖、放っておかないための考え方・使い方、六原まちづくり委員会+ぽむ企画著、学芸出版社」が出版され、住まい手や家族、近隣住民にも参考になる楽しい本です。

空き家を負担に考えるだけでなく、地域資源として、二か所居住や交流の場に活用したり、楽しむ可能性も秘めているでしょう。コロナ禍のなか、苦労も多い一方で、リモートで仕事ができ、学ぶ機会が増え、住む場所の選択は広がっています。

特別サロン（1）では、東京都府中市の事例ですが、住まいの片付けとりサイクルショップで障がい者と健常者が共に働くインクルーシブな事業展開について、講演を聴き、話し合います。

特別サロン（2）（年明け予定）では、中古住宅リノベの魅力を建築設計に携わるプロの方に紹介頂く予定です。宇部市も空き家バンクを運営していますが、手ごろで信頼できる中古住宅活用の一助となれば幸いです。

空き家の手帖

放っておかないための考え方・使い方

六原まちづくり委員会+ぽむ企画 著



空き家に悩むすべての人へ

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始（12月29日～1月3日）



HomePage



facebook



twitter

NPO法人うべ環境コミュニティー